



まつざき真琴 県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2011年7月10日号

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com
ホームページ http://jcp-kagoshima.com

九電“やらせ”メール問題 が明らかに

経済産業省が主催した玄海原発の説明会で、九州電力によって、「原発の推進の立場からメールするように」と“やらせ”メールが組織されている事実が明らかになりました。「しんぶん赤旗」が、7月2日付でスクープしました。

その情報をもとに、4日県議会の原子力安全対策等特別委員会で、まつざき真琴県議は、九州電力の参考人に、“やらせ”

メールについて問いただしたところ、「当社としてそのような依頼をした事実はない」と回答しました。

その後、6日、国会で日本共産党笠井亮衆院議員の質問を受けて、政府が「けしからんことだ」と述べ、急きよ真部利応九州電力社長が、“やらせ”メールの存在を認めるという事態になりました。

原発への不安な思いを裏切る行為！ 許しがたい対応！

まつざき真琴県議はこう語ります。

「全国の原子力発電所の再稼働をめくっては、佐賀県の玄海原発2、3号機の運転再開を突破口にしようとする動きがあります。

今回の“やらせ”メールは、県民の原発への不安な思いを裏切る行為で許しがた

いものです。

国会で取り上げられ、国から調査を指示されると、あっさり認めるのに、鹿児島県議会での追及には、平然とウソの答えをする。地方議会なら隠し通せるとでも思ったのか、地域住民を軽視した対応も許しがたいと思います。」

各メディアで反響

日本共産党笠井亮衆院議員の質問を受け、各メディアで“やらせ”メール問題が反響をよんでいます。

まつざき真琴県議は、7日、NHKのニュースウォッチ9で今回の“やらせ”メールについてコメントを求められました。そのニュースを見て、党県議団に激励のメールが送られてきました。他に、新聞、雑誌などから取材が殺到しています。

原子力安全対策等特別委員会 への傍聴にお越しく下さい

今回のことを受けて、再度九州電力に対して、質問します。ぜひ傍聴にお越しく下さい。

7月11日(月)	10:00~ 九州電力(参考人)
	13:30~ 原子力安全・保安院(参考人)
7月12日(火)	10:00~